

今度は私が導きたい。
私を導いてくださった先生のように、

草津市立志津小学校 教諭 大橋 果歩

学生時代に出会った先生は、勉強を教えるだけでなく、様々な面で支え、導いてくださいました。そのような先生を目指しています。



先輩からの
アドバイス

教壇に立つことが決まったとき、小学生の頃からなりたいと思っていた職業だったので、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

教員になることができたことを友だちに伝えると、びっくりする人もいれば、先生になると思っていたよと言つてくれる人もいました。昔から人前に立ったり、みんなのまとめ役となりする経験をしていたので、その様子をみて、「先生に向いているね。」と言われることが多くありました。

学校に赴任する前は、今まで出会ってきた先生のように自分がなれるのかというプレッシャーを感じていましたが、一方でワクワク感もありました。

子どもたちと出会った初日は、私も子どもたちも緊張し、表情が硬く、子どもたちの中には泣いてしまう子もいました。

教員になって気付いたことは、児童の成長が近くでみられるということです。

何かを出来るようになったときには、子どもたちはとてもよい表情をしています。

私は滋賀県の出身で、子どもの頃から自然が身近にある環境で育ちました。今、勤務する学校も自然に触れる機会がたくさんあります。そういう自然がすぐ近くにあるところが滋賀県のよいところだと思います。私のことを支え、導いてくださった恩師の先生方のように、私も誰かの記憶に残るような先生になれたらと思います。

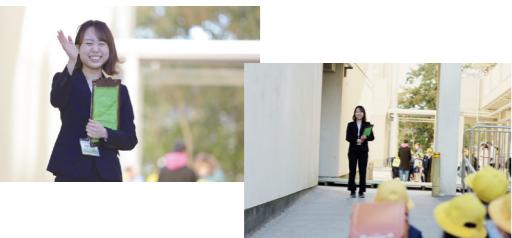


1日のタイムスケジュール

8:20	始業
	朝の会
	一時間目
11:40	四時間目
	給食
	昼休み
13:00	そうじ
	五時間目
	六時間目
14:30	帰りの会
	下校
	学級事務・教材研究
16:50	終業

悩みごとは、同僚にすぐに相談

児童との意思疎通が上手くいかないときは、放課後に先輩に相談しています。先輩方の経験をもとにしたアドバイスを聞くことができ、それを次の日に実践して解決することで、モヤモヤした気持ちを引きずることなく次へ進めることができます。



先輩からの
アドバイス

大学の授業や、教員採用選考試験の勉強に悩むこともあるかもしれません、それを乗り越え採用内定をいただいた先には、教員にしか見られない景色、子どもたちの笑顔があります。あきらめない気持ちを大切にしてください。

1日のタイムスケジュール

8:35	始業
	朝の会
	一時間目
11:00	四時間目
	給食
	昼休み
13:30	そうじ
	五時間目
	六時間目
14:40	帰りの会
	下校
	学級事務・教材研究
17:05	終業

チームで子どもたちを見守ります

特別支援学校の学級内では、複数担任のチーム体制で取り組んでおり、様々なことを相談し合える環境があります。子どもたちの成長を仲間とともに喜び合える楽しさがあります。



滋賀県立甲良養護学校 教諭 藤田 雄人

大学の社会学部で、特別支援学校教諭の免許を取得できることができたことをきっかけに新しいことを学び、道を広げようとこの職業を選びました。

私は当初、中学校の社会科教員を目指していました。転機となったのは、大学時代に参加したボランティア活動でした。

障がいのある子どもたちと接する中で、最初はどうしていいのか正直わかりませんでした。そこで、一緒に遊ぶことから始めました。すると、子どもたちの得意なことや苦手なことが理解できるようになったり、子どもたちが私の名前を覚えてくれたりと、少しづつ距離が縮まっていく喜びを感じました。

また、特別支援学校の実習では、複数の担任がチームとなって連携をとり、相談し合いながら毎日の授業をつくっておられる様子を見て、新鮮に感じました。そして、自分もこの仕事をやってみたいと思いました。

現在は知的障がいのある中学部の学級を担当しています。自分の気持ちを



向き合う度に心が通じ合い、分かり合える。

子どもの成長を感じられる楽しい仕事です。



長浜市立浅井中学校
教諭 大橋 佑至

子どもの成長の早さにはびっくりします。昨日まで出来なかったことが、次の日に急に出来るようになることも珍しくありません。生徒に、自分が「こういうふうにしたい」と思ってアプローチしても、うまくいかないことがあります。学び合う中で、自分が想定したよりも子どもたちがさらに成長したときには、とても嬉しくなります。

教員にとって大切な力は「見る力」と「受け入れる力」です。教育現場では、たくさんの人の関わりの中で、様々な話を聞きます。その話の中に込められた思いや願い、意見を次に繋げ、広げることが教員の役割だと考えます。時には先を見通せないこともあります。先輩教員に助けていただいている。先輩教員の皆さん様子を見ていると、この職業を楽しみながらやっておられるなど感じ、お手本にするとともに自分の励みになります。教員は、学習はもちろんのこと、いろいろなことを子どもたちに教え、伝えています。希望と可能性が広がるスケールの大きな仕事だと思います。



先輩からの
アドバイス

教えるのは、勉強だけではありません。学生などのうちに、色々な経験をしてください。今までの自身の経験を感じたことや学んだことを伝えることが、子どもたちの成長につながります。

教員は一丸となり、子どもたちを見守っています。



滋賀県立国際情報高等学校
教諭 石倉 夏希

はじめは、「どんな生徒と出会えて、どんな授業をしようか。」という期待の一方で、「私に教員という仕事ができるのだろうか。」という不安がありました。でも、先輩教員から「一人で対応していくことは、まずない。みんなでやっていくんだ。」という声かけをいただき、不安が次第に消えてきました。

教員という仕事のよいところは、生徒の成長を一番間近で見られることです。教員は、生徒の成長に関わることができる、やりがいのある仕事です。私は今、バレーボール部の顧問をしていますが、「先生、試合に勝てた」と喜んでいる時の生徒の顔は、授業中とはまた違うもので、「かわいい」生徒のいろんな表情を見ることができます。また、教員は、子どもの人生の成長過程に関わることができるやりがいのある仕事です。大人相手の仕事とは違う魅力があります。多くの生徒と関わっていくのは大変だと思いつつ、毎日が充実しています。

希望と可能性が広がるスケールの大きな仕事だと思います。



先輩からの
アドバイス

学校現場で働くことに不安があると思いますが、決して一人で対応することはできません。教員みんなで子どもたちを見守っていきます。教員になって、是非一緒に頑張りましょう。

子どもや先生方に支えてもらえる職場です。



米原市立河南小学校
養護教諭 村木 いる香

自分自身の学校生活を振り返った時に、心身とともに健康で、笑顔で学校生活の大半を過ごしてきたことを思い出しました。その経験から、今度は自分が子どもたちの心身の健康を支え、笑顔を導く養護教諭になりたいと思いました。子どもたちは、けがや体調不良、心のしんどさを理由に保健室にやってきます。私が手当をしたり声をかけたりすることで、「行ってきます！」と笑顔で教室に戻っていく瞬間がうれしいです。

教師は、子どもたちに「教える」とか「与える」というイメージがありました。実際に学校現場で働いてみると、子どもたちが「いる香先生！」と呼んでくれる度に私自身が元気をもらっていることがわかります。

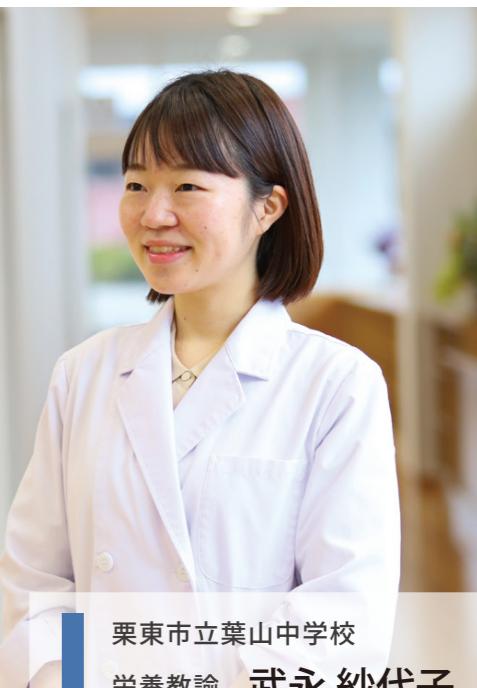
時には悩むこともあります。職員室に帰ると、先生方が「おかえり」と温かい空気で待っていてくださいます。子どもたちと先生方に元気をもらい、助けていただける温かい職場です。



先輩からの
アドバイス

滋賀県の子どもたちは無邪気で、はつらつとしています。学校現場では、「子どもが好きだ」という思いを前面に出してください。その気持ちを伝えることが何より大切です。

成長期の子どもたちの笑顔と健康をつくります。



栗東市立葉山中学校
栄養教諭 武永 紗代子

栄養教諭は、給食全般の管理を行うことに加え、献立を考えたり食育指導を担当したりします。子どもと調理が好きな私にとって、やりがいのある仕事です。

給食の時間には、教室に行き、子どもたちの食事の様子を観察します。給食は多い日は8千食ほど作ります。子どもたちに美味しく食べてもらい、成長と発達を支えています。

子どもたちの中には、苦手な食べ物がある子もいます。そういった子どもに、「美味しいから、一口だけ食べてみよう。」と声をかけることによって、食べられるようになると、とても嬉しい気持ちになります。また、食育の授業で、成長期の体にはカルシウムを摂ることが大切なことを伝えると、苦手だった牛乳が飲めるようになる子どももいます。栄養教諭として、やりがいを感じる時です。細やかな声かけや気付きが子どもたちの健康づくりにつながっていることを日々実感しています。



先輩からの
アドバイス

給食センター内では、先輩のみなさんから多くのアドバイスをいただいています。子どもが好きで、健康に関わることにやりがいを感じる皆さんに、ぜひおすすめする仕事です。

あなたの子どもを想う心が、明るい未来への道を創る。